

令和6年度第3回八尾市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 会議録（要約）

■開催日時：令和7年2月12日（水） 午後2時～午後4時

■場 所：八尾市役所西館4階 401会議室

1. パブリックコメントの結果報告及び第4期八尾市障がい者基本計画後期計画（案）について

【委員】

「親なきあと」では遅く、親がある間に動く必要がある。

【会長】

計画内の文言を修正した方が良いということか？

【委員】

計画内の表現をもう一度検討してもらった方が良いと思う。「障がい者の自立」を軸に施策を展開してほしい。重度障がい者の支援は一般のグループホーム支援者では難しい。

今後そのために何をどうするのか、グループホームの支援をどう引き上げていくのかを検討すべき。

【委員】

パブコメの中でグループホームのことが言われていたが、当事者や家族からの期待も大きい。フルサポート体制はなかなか厳しい。もう少し細かい段階があるべきと思う。質の担保が非常に厳しい。そこへの支援が必要ではないか。

【会長】

グループホームのスタッフの専門性の課題をどうするかということかと思う。

他に、グループホーム以外のことで何かないか。

【委員】

学校の先生からみて放デイに行った方が良いと思う児童がいるが、親が受け入れできない場合がある。親とのコミュニケーションが取れば良いと思う。

【委員】

障がい者が高齢化すると家で見られないのでグループホームに入るしかない。

入居した場合にすべてをスタッフがするのではなく、出来るところまでは自分でやってもらう、できないところを助けるという支援をしてもらいたい。個人の特性をもっと考えてあげてほしい。

【委員】

親がみることを前提に記載されている。「親なきあと」以外の形で書くのが本来は望まし

い。

2. 第6期八尾市障がい福祉計画等の実績報告について

【委員】

障がい児福祉計画で児発・放デイは見込量より大幅に増えている。次回は現状に合わせた見込量の設定をお願いしたい。

指導の質の確保をお願いしたい。

もし書けるのであれば、放デイと学校の連携がなかなか進んでいないと聞いている。地域学校連携の記載をしてほしい。保護者が任せっきりにしてしまうというリスクも孕んでいるので、保護者の相談支援の充実も担保されないといけないと思う。次期でも良いのでもし書けるなら検討いただきたい。

【会長】

見込量の出し方は次期策定の時に考えても良いのかもしれないと思った。

【委員】

防災について、個別支援計画を作ったことは非常に良いが、実際に災害が起こった際に誰が来るかわからない。顔の見える関係を作っておかないと意味がない。

手話言語条例について、八尾市はこの条例を作ることに後ろ向きだと思うので、もう少し前向きに条例を作れるようにしてほしい。

【委員】

障がい者は家族が元気なうちは家族がみる、というのが定着してしまっているように思う。最近は両親が共働きという家庭が増えている。フルタイムの人が働き続けられる条件について考える必要が出てきていると思う。

【委員】

資料4のこども・子育て支援について。資料5の一番後ろに各制度の細かい数字を出せるものなのか。

資料6を出しているのは、今後も計画の進捗報告とともに出していくのか？

【事務局】

現行の基本計画内には記載がなかったので資料を別出ししているが、今後は実績報告の中で併せて報告する。

【委員】

コミュニケーション充実の取り組みについて。

高美小学校に手話を教えに行った。会員がスマホを使って音声の変換をした際、こどもがとても興味をもっていた。市民がそのようなツールを使えるような講座等をしてほしい。

【会長】

自治体がすべきものなのか？ 子どもや若い人は詳しいと思うが。

【副会長】

UD トーク等、どんなアプリがあるかをお知らせするのも良いかもしれない。どんなものがあるかを知らないのではないかと思いますので、そういった啓発があっても良いかもしれない。

【事務局】

障がい福祉という分野ではなく、広くどの場面でもスムーズに生活できるようにしていければ考える。

また、手話言語条例は市議会事務局がパブリックコメント実施中である。

アプリの件については、ご紹介というところから入らせてもらうのが良いのかと思う。コミュニケーションツールの一つとして使ってもらえるような啓発をすることが一番良いか考える。

防災について、自助としてどう逃げるかを考えていただく機会として送付した。共助・公助の組み立てとして何が出来るのか。誰が行くのかを決めきるのは現実的には難しいので、現実的に何ができるかということを考えていきたい。

【委員】

資料5の成果目標にある精神障がいについて、現場のことをお伝えできればと思い話す。

地域移行に関して、入院者の退院状況について、高齢により亡くなって退院したり、施設へ入ったりというのが増えている。八尾のグループホームだけではまかないきれないので他市のグループホームに入る方も多いのが現状である。長期入院者がグループホームに入っているというよりは、地域で暮らしている方が家を出てグループホームに入ることが増えている。

3. 第8期八尾市障がい福祉計画及び第4期八尾市障がい児福祉計画策定にかかるアンケート調査の実施について

【委員】

アンケート調査の結果について、仕様の中にクロス集計や経年比較をするように入れてもらうようお願いする。